

ベナン月報(2015年5月)

主な出来事

【内政】

- 4日、政府はアザナイ議員が選挙期間中にヤイ大統領を侮辱する発言を繰り返したとして、同議員を逮捕すべく司法手続をとった旨発表。同議員の自宅に憲兵隊を差し向け、連行しようとした。これに民衆が反発し、コトヌ市内各地及びアボメイ・カラビ市において大規模なデモが発生した。
- 4日のデモ発生を受け、5日にコジョ内務大臣は選挙期間中のデモ禁止を発表したが、野党議員の呼びかけを受け、6日に大規模なデモが再びコトヌ市内で発生した。
- 16日、第7次国民議会が開会。第7次国民議会の役員選挙が実施され、ウンベジ議員が3度目の国民議会議長に選出された。また、その他の役員6名のうち5名を野党が占めた。

【外政】

- ベナン政府のオランダ政府開発援助資金約30億 FCFA の不正使用の発覚を受け、オランダ政府はベナン政府が確実な不正予防対策を講じるまでは一切の開発援助を停止することを発表。これを受けて、カサ・エネルギー大臣が引責辞任した。
- 元国連事務総長特別代表であるテヴォエジレ教授の主導で計画された、宗教・文化間対話シンポジウムが開幕し、ヤイ大統領やソグロ・コトヌ市長、オバサンジョ元ナイジェリア大統領などが出席した。

【経済】

- ナイジェリアにおけるガソリン不足の影響で密輸入ガソリンが不足、ベナン各地で価格が高騰し、正規ガソリンの購入も難しい状況が続いた。
- ベナンにおける電力供給の大部分をしめているナイジェリア及びガーナからの電力供給量の激減により、ベナン各地において長時間の停電が発生した。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙および L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 3日、憲法裁判所が4月26日の国民議会選挙の審査結果を発表した。(4日、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Autre Quotidien 紙、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 4日、政府はアザナイ(M.Candide AZANAI) 野党 UN 議員が選挙期間中にヤイ大統領を侮辱する発言を繰り返したとして、同議員を逮捕すべく司法手続をとった旨発表。同議員の自宅に憲兵隊を差し向け、連行しようとした。これに民衆が反発し、コトヌ市内各地及びアボメイ・カラビ市において大規模なデモが発生した。(5日、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Autre Quotidien 紙、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 5日、前日のアザナイ議員逮捕未遂事件を受けて、UN 党首のアムス(M. Bruno AMOUSOU) 議員は6日に大規模なデモを行うよう支持者に呼びかけた。(6日、La Nation 紙、Le Matinal

紙)

- ・ 5日, 前日の大規模なデモ発生を受け, コジヨ内務大臣(M. Simplicie Dossou CODJO)は選挙期間中のデモ禁止を発表した。(6日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 6日, アムス議員の呼びかけを受けて, 大規模なデモがコトヌ市内で発生した。(7日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Autre Quotidien 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8日, クパキ(M. Pascal Irénée KOUPAKI)元首相が大統領府を訪れ, 現在の政治状況に関してヤイ大統領と意見交換を行った。(9日, La Nation 紙)
- ・ 12日, オランダ政府開発援助資金不正支出を受けて, カサ(M.Barthélémy Dahoga KASSA)エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣が引責辞任した。(13日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Autre Quotidien 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 16日, 第7次国民議会が開会した。(18日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 16日, ヤイ大統領はジュグ市を訪れ, 同市の水不足を2016年1月までに解決することを約束した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 19日, 第7次国民議会の役員選挙が実施され, ウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)議員(野党 PRD 所属)が3度目の国民議会議長に選出された。また, その他の役員6名のうち5名を野党が占めることとなった。(20日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Autre Quotidien 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 19日, 憲法裁判所は地方選挙の実施日を6月28日に延期することを承認した。(20日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, ヤイ大統領は14日に逝去したベナン人作家ジャン・プリヤ(M. Jean Pliya)氏の家を訪れ, 弔意を表明した。同氏は1931年にジュグ市で誕生し, フランスや西アフリカで作家/教授として活躍した。ザンス財団によってコトヌ市に記念館が建設されている。(20日, La Nation 紙)
- ・ 20日~21日, コトヌ自治港の労働組合がストライキを行った。(22日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, ヤイ大統領は一部を除く全ての大統領顧問の解任を行った。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日, アフリカ・マダガスカル航空治安機関(ASECNA)職員がストライキを行い, 複数の航空便が欠航となった。(26日, Le Matinal 紙)

【治安】

- ・ 11日, ボイコン中学校において, 同校の生徒が暴動を起こし, 校門周辺に放火するなど, 交通に混乱をもたらした。同校の生徒は文化祭を昼間でなく夜通し行うように要求していた。(12日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 11日, グラン・ポポ市で住民とベナン海軍が衝突, 住民による暴動が発生した。これは, ブードゥー教の祭で行われた地域住民対海軍のサッカーの試合の結果に海軍チームが抗議したことが原因である。(12日, La Nation 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 12日, グラン・ポポ市で3.5キロのインド大麻を所持していたナイジェリア人学生が逮捕され

た。(13日, La Nation 紙)

- ・ 16日, パラク市で住民と警察官の衝突が発生, 警察官は住民に対し発砲, 警察官を含む数人が重傷を負った。この衝突は, 警察官による過度な検問に対する住民の反発から発生した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 19日未明, アトランティック県ポマセ市において与党 FCBE のウデベ(M.Octave HOUDEGBE)議員のボディガードが暴漢から暴行を受けた。暴漢はボディガードからウデベ議員の滞り場所を聞きだそうとしたが, ボディガードは口を割らなかった。(20日, La Nation 紙)
- ・ 21日, コトヌ市アツパツパ地区でバイクタクシー運転手とベナン軍兵士が口論となり, ベナン軍兵士が発砲, バイクタクシー運転手が死亡した。(22日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 4日, バコ・アリファリ(M.Nassirou BAKO-ARIFARI)外相及びカンデ・ガザル(Mme.Dorothee Akoko KINDE GAZARD)保健相は, 外交団に対し, ニジェール及びベナン北部で発生している髄膜炎の流行に対して支援を求めた。(5日, La Nation 紙)
- ・ 7日, ベナン政府のオランダ政府開発援助資金約30億 FCFA の不正使用の発覚を受け, オランダ政府はベナン政府が確実な不正予防対策を講じるまでは一切の開発援助を停止することを発表。(8日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Autre Quotidien 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 7日, 北京で中国政府の「報道の発展と統合」プログラムによる, ベナンのジャーナリスト26人に対する研修が開始された。この研修は21日まで続く。(8日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 中国文化センターで太極拳記念式典が催され, スポーツ・青年・余暇省などから代表者が出席した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 21日, 塚原駐ベナン特命全権大使は日本の食糧援助米の管理を担当する国家食糧安全保障公社(ONASA)を訪問し, 同公社の現状を確認, 職員を激励した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 22日, 中国文化センターで, 中国がベナン国営放送(ORTB)に供与した映像ソフト600本(映画52本, ドキュメンタリー4本, 連続ドラマ10本)の放映開始を記念する式典が催された。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 元国連事務総長特別代表であるテヴォエジレ(Dr.Albert TEVOEJIRE)教授の主導で計画された, 宗教・文化間対話シンポジウムが開幕し, ヤイ大統領やソグロ(M.Nicéfore SOGLO)コトヌ市長, オバサンジョ(M.Olusegun OBASANJO)元ナイジェリア大統領などが出席した。(27日, La Nation 紙)
- ・ 26日, アビジャンでアフリカ開発銀行の総会が開催され, ヤイ大統領が出席した。(27日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ (4月30日)ベナンのミレニアム・チャレンジ・アカウント(MCA)第2コンパクトに対して, アメリ

カ政府が3.75億ドルを拠出することが明らかになった。(6日, Le Matinal 紙)

- ・ ナイジェリアにおけるガソリン不足の影響で密輸入ガソリンが不足, 価格が高騰し, 正規ガソリンの購入も難しい状況が続いている。6日にはパラク市において密輸ガソリンが1500 FCFA/リットルで販売されており, 普段は密輸ガソリンしか購入しない住民も465FCFA/リットルで販売されている正規のガソリンスタンドに殺到した。(7日, La Nation 紙, Le Matinal 紙)
- ・ 12日, モロッコの石油会社 Samir Lubrifiants はベナンの石油会社 Benin Pétro との提携を発表, Benin Pétro を通じ同社の製品のベナンにおける販売を開始するとした。(13日, La Nation 紙)
- ・ 16日, コトヌ自治港に新たなコンテナクレーン2基が導入された。(19日, La Nation 紙)
- ・ 27日, ヤイ大統領はバニコアラ市において綿花2015-2016年度の綿花の価格を1キロ260FCFA に固定することを発表した。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, ポベマブ(M. Camille KPOGBEMABOU)ベナン電力公社(SBEE)総裁はヤイ大統領に対し, 最近の電力不足に関する説明を行った。説明によると, 電力不足の原因は, ベナンにおける電力供給の大部分をしめているナイジェリア及びガーナからの供給量の激減によるもので, 普段なら200MW 供給されているナイジェリアからの供給が30MW, ガーナからの供給が50MW に減少していることであるとした。(28日, La Nation 紙)